

注入方法



必要物品

- 注射器
- イルリガートル（栄養管含む）
- 後押し用の白湯
- ミルク（経管栄養剤）

注入手順

- ①手を洗いましょう。
- ②チューブが胃内にあるか、胃内にミルクが残っていないか（胃残）を確認しましょう。
胃残がない場合は気泡音を耳で聞いて確認しましょう。
※胃残の対応についてはあらかじめ主治医に確認しておきましょう。
※はじめは不安があると思いますが、入院中に回数をかさね、分からないことは気軽にお聞きください。

ポイント

★胃残を確認しましょう！

胃内より引けてきた場合

- ミルクが少量 ⇒ 戻して予定量を注入
- ミルクが多量 ⇒ 時間をずらす
or 差し引き注入
or 濃度を薄くする
- 透明で胃液様の物 ⇒ 戻して予定量を注入
- 血液が混じた物 ⇒ 捨てて予定量を注入

★あらかじめ確認しておきましょう！

- 多量の判断基準は？
- ずらす時間の目安は？
- 注入するミルクの量は？

③ミルク（経管栄養剤）を適温に暖めイルリガートルに移し、栄養管のルート内をミルク（経管栄養剤）で満たします。

④イルリガートルと栄養チューブを接続し注入を開始しましょう。

※通常は20～30分かけて注入しますが、お子様の状態により異なりますので、看護師と相談しましょう。

⑤注入が終わったら白湯を

ml 程度流しましょう。

⑥イルリガートル（栄養管含む）・注射器などはよくすすぎ洗って消毒しましょう。



こんな時どうする!?

? 注入中にチューブが抜けてしまったら!?

⇒ まず注入を止めましょう。チューブを無理に入れなおさずに抜いてしまいましょう。

? ミルクを吐いてしまったら!?

⇒ まず注入をとめましょう。
⇒ 注入の速さはどうですか？
…速すぎると吐いてしまいます。
⇒ お子様の体位はどうですか？
…頭の方を少し高くしてみてください。
乳児の胃の形は縦長なので、大人よりも簡単に吐きやすいのです。

日々の管理



栄養チューブのつまり予防

- 注入・内服の後にはしっかり白湯を流しましょう。
- チューブ内の汚れが目立つときには、多めの5～10cc程の白湯や微温湯（人肌程度）を流したり、チューブをもむように、チューブ内をこすり合わせてきれいにしましょう。
- 水分制限のあるお子様の場合栄養チューブがつまった時に入れ替えが必要になる場合があります。
- 薬は多めの白湯で溶きましょう。

栄養チューブの固定

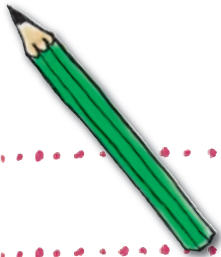
- シールがはがれたり汚れたらはり替えましょう。
- チューブを固定する部位がいつも同じだと、その部位が赤くなったりするので、テープを張り替えるときには、皮膚が赤くなっていないか確認し、その部位を避けてはるようにしましょう。
- チューブを入れ替える場合、前回と逆の鼻の穴から入れると良いでしょう。
- 一日1回は挿入長さを確認しましょう。印が消えかかっていたら再度印をつけましょう。



※栄養チューブ交換についてご心配な事があれば外来で相談してください。
ただし、つまったり、抜けた場合などは交換を必要とします。

※注射器などを捨てる場合は、一般の家庭ゴミとして出せない場合があります。廃棄方法については、かかりつけの医療機関にご相談ください。
何か困ったことが合った場合は、かかりつけの病院または当院外来までご相談ください。

memo



A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page. The lines are evenly spaced and extend from the left margin to the right margin.

